

まちの日記帳



各小児童が合同学習 冬休み「朝活どう場」

12/25 12/27

生活習慣が乱れがちな冬休み期間中に、望ましい生活習慣と学習習慣を身につけることを目的とした、冬休み「朝活どう場」がB & G海洋センターで行われ、2日間の日程で各小学校から延べ71名の児童が参加しました。

児童たちは、各小学校の先生の指導を受けながら各自持ち寄った冬休みの宿題を進め、わからない部分等を先生に質問するなど真剣に取り組んでいました。

また、ボール遊びやバトミントンなども行われ、児童は他校との交流を楽しみました。



海難事故“ゼロ”へ 積丹・美国救難所出初式

1/5 1/12

1月5日に北海道海難防止・水難救済センター積丹救難所（佐藤一義所長・41名）、12日に同美国救難所（神哲治所長・34名）の出初式が行われ、制服・制帽に身を包んだ所員が列席しました。

また、美国救難所の今政司さんに小樽海上保安部梶山部長から、勤続30年を讃える感謝状が贈られました。

同所員の皆さんは、海難事故の一報が入ると漁船での救助活動を優先させる体制を整えており、当日は両所長の訓辞と松井町長の祝辞、基本動作の教育訓練が行われ、所員の皆さんは海難事故防止の決意を新たに、今年1年の安全操業を誓いました。



つきたてのお餅に大満足 保育所「もちつき大会」

1/11 1/12 1/15

びくに保育所、みなと保育所、子育て支援センターで、もちつき大会が行われ、エプロンと三角巾に身を包んだ園児たちが臼と杵を使って餅つきに挑戦しました。

園児たちは重たい杵に苦戦しながらも、掛け声に合わせて餅をつき、お餅が出来上がっていく様子を興味深そうに見つめていました。

出来上がったお餅は、お雑煮などにして美味しくいただき、園児達は自分たちで手作りした美味しいお餅に大満足の様子でした。



上達をめざして ジュニアスキー教室

1/13

町教育委員会が主催するジュニアスキー教室が行われ、町内の小学生19名が参加しました。

この教室はスキー技術の習得とその楽しさを知ることが目的に実施されたもので、町内の5名の方に講師を務めていただき、小学校1年生～6年生の初心者を対象に行われました。

スキー経験が全くない児童も、ロープ塔に乗れるまでに上達し、それぞれが目標を持って一生懸命取り組んでいました。



国の財政状況等を学ぶ 財務行政懇話会

1/16

北海道財務局小樽出張所が主催する「財務行政懇話会」が総合文化センターで行われ、30名が参加しました。

国の財政や金融に関する施策等についての理解を深めることを目的として行われた懇話会では、財務局の業務紹介のほか、加藤基小樽出張所長から、国の財政状況や後志管内の経済の現状と課題、後志の地域振興の方向性、金融犯罪被害に遭わないために注意することなどについての講演があり、参加者は真剣に耳を傾けていました。



交通事故防止へ誓い新たに 交通安全指導員出初式

1/18

平成30年積丹町交通安全指導員会（的場無縫会長）の出初式が行われました。

この日は、美国神社で交通安全祈願を行った後、総合文化センターで式典を行い、松井町長、余市警察署市川交通課長から感謝と激励の挨拶がありました。また、的場会長からは交通事故防止の誓いを新たに、交通安全宣言がありました。

当町は、1月17日現在で交通事故死ゼロが6,364日となっており、今後もこの記録が途切れないよう、交通安全指導員の皆さんは交通事故防止へ気持ちを新たにしていました。

